

各会計の決算状況

1. 一般会計の決算状況

(単位：千円)

平成21年度決算額			Cの内訳		
歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	繰越明許費 繰越額	基金積立額	翌年度 繰越額
5,711,935	5,605,973	105,962	8,743	49,000	48,219

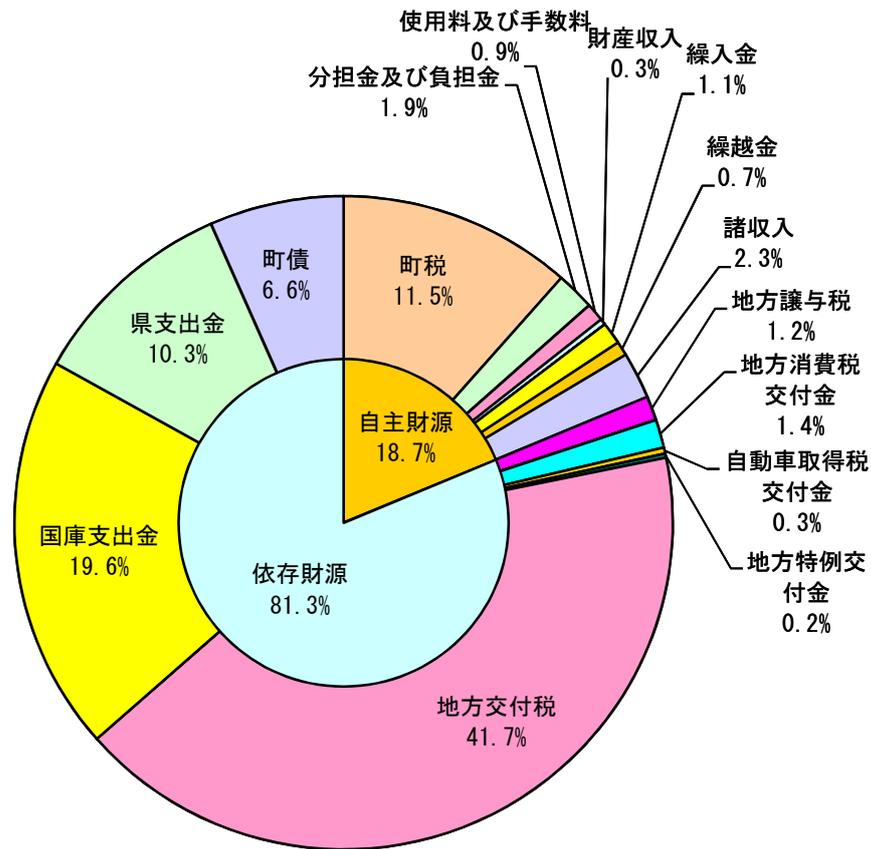
平成21年度の決算額は、歳入が57億1193万5千円で、前年度と比較すると8億4680万2千円（17.4%）の増加、歳出は56億597万3千円で、8億774万5千円（16.8%）の増加となっています。

また、歳入から歳出を差し引いた剰余金1億596万2千円のうち、874万3千円を翌年度繰越事業の財源として繰り越し、4900万円を財政調整基金へ積み立て、残りの4821万9千円は平成22年度へ繰り越しました。

●歳入

(単位：千円、%)

区分	平成21年度		平成20年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	決算額 A	構成比	決算額 A	構成比		
町税	653,720	11.5	677,193	13.9	△ 23,473	△ 3.5
地方譲与税	70,042	1.2	74,850	1.5	△ 4,808	△ 6.4
利子割交付金	2,278	0.0	2,722	0.1	△ 444	△ 16.3
配当割交付金	581	0.0	616	0.0	△ 35	△ 5.7
株式等譲渡所得割交付金	251	0.0	442	0.0	△ 191	△ 43.2
地方消費税交付金	78,494	1.4	75,505	1.6	2,989	4.0
自動車取得税交付金	14,627	0.3	24,111	0.5	△ 9,484	△ 39.3
地方特例交付金	13,872	0.2	9,107	0.2	4,765	52.3
地方交付税	2,378,880	41.7	2,329,618	47.9	49,262	2.1
交通安全対策特別交付金	1,511	0.0	1,425	0.0	86	6.0
分担金及び負担金	110,531	1.9	102,660	2.1	7,871	7.7
使用料及び手数料	50,155	0.9	52,560	1.1	△ 2,405	△ 4.6
国庫支出金	1,119,467	19.6	411,823	8.5	707,644	171.8
県支出金	590,802	10.3	475,829	9.8	114,973	24.2
財産収入	16,051	0.3	15,714	0.3	337	2.1
寄附金	123	0.0	850	0.0	△ 727	△ 85.5
繰入金	63,142	1.1	64,162	1.3	△ 1,020	△ 1.6
繰越金	40,905	0.7	37,648	0.8	3,257	8.7
諸収入	128,340	2.3	118,651	2.4	9,689	8.2
町債	378,163	6.6	389,647	8.0	△ 11,484	△ 2.9
合計	5,711,935	100.0	4,865,133	100.0	846,802	17.4



寄附金、配当割交付金、利子割交付金

株式等譲渡所得割交付金及び交通安全対策特別交付金については割愛する。

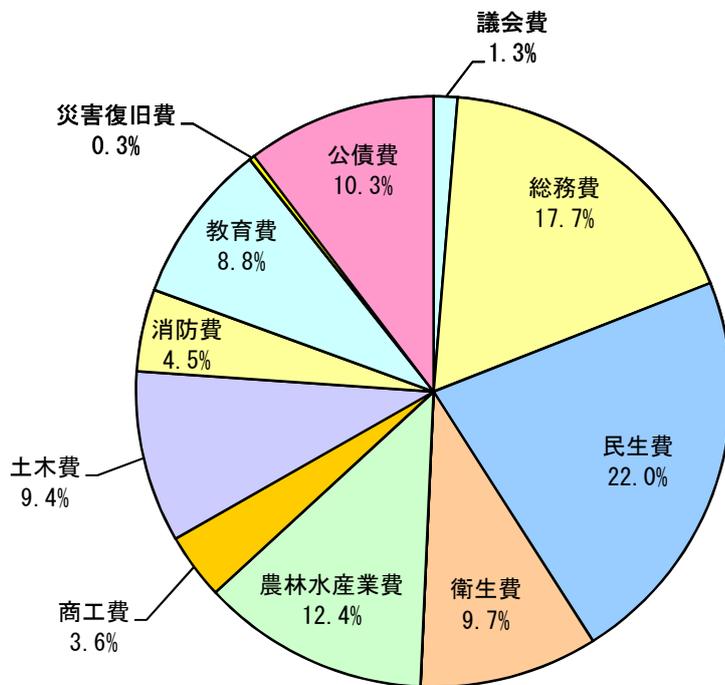
歳入総額は、前年度より8億4680万2千円（17.4%）増加の57億1193万5千円です。地方交付税が歳入の約40%を占めるなど国や県への財源依存度は非常に高く、いかに自主財源を確保していくかが重要な課題です。各区分における増減の主な要因は次のとおりです。（増減額の大きい順）

- 国庫支出金（707,644） → 定額給付金給付事業費補助金（166,408）
地域活性化・経済危機対策臨時交付金（166,189）
地域活性化・生活対策臨時交付金（105,966）
地域活性化・公共投資臨時交付金（92,084）
安全・安心な学校づくり交付金（82,181）
道整備交付金（60,050）
- 県支出金（114,973） → 並行在来線沿線地域特別助成金（82,333）
ふるさと雇用再生基金事業費補助金（33,432）
緊急雇用創出基金事業費補助金（28,032）
広域漁港整備事業費補助金（△20,925）
- 地方交付税（49,262） → 普通交付税（34,146）
特別交付税（15,116）
- 町税（△23,473） → 固定資産税（△12,229）
町民税（△9,527）
町たばこ税（△3,190）

●歳出

(単位：千円、%)

区分	平成21年度		平成20年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	決算額 A	構成比	決算額 A	構成比		
議会費	73,323	1.3	74,130	1.6	△ 807	△ 1.1
総務費	991,535	17.7	767,869	16.0	223,666	29.1
民生費	1,232,061	22.0	1,172,831	24.5	59,230	5.1
衛生費	542,344	9.7	431,745	9.0	110,599	25.6
労働費	110	0.0	134	0.0	△ 24	△ 17.9
農林水産業費	696,453	12.4	683,625	14.2	12,828	1.9
商工費	201,559	3.6	154,214	3.2	47,345	30.7
土木費	529,752	9.4	380,482	7.9	149,270	39.2
消防費	254,129	4.5	200,991	4.2	53,138	26.4
教育費	491,843	8.8	326,568	6.8	165,275	50.6
災害復旧費	16,465	0.3	484	0.0	15,981	3,301.9
公債費	576,399	10.3	605,155	12.6	△ 28,756	△ 4.8
合計	5,605,973	100.0	4,798,228	100.0	807,745	16.8



労働費については割愛する。

歳出総額は、前年度より8億774万5千円（16.8%）増加の56億597万3千円です。公債費は昨年度より減少傾向になったものの、依然財政運営を圧迫する要因であるため、町債の新規発行を抑制し公債費削減に取り組まなければなりません。

各区分における増減の主な要因は次のとおりです。（増減額の大きい順）

- 総務費（223,666） → 定額給付金給付事業費補助金（166,408）
公共施設整備基金積立金（39,203）
情報化推進事業用備品（10,492）
- 教育費（165,275） → 学校施設耐震補強事業（86,242）
学校ICT環境整備事業費委託料（50,159）
体育施設整備事業（8,226）

- 土木費 (149,270) → 道整備交付金事業 (120,100)
町営住宅屋上改修事業 (39,359)
- 衛生費 (110,599) → 町立太良病院事業会計繰出金 (補助等) (49,135)
火葬場建設事業 (29,770)
町立太良病院事業会計繰出金 (出資金) (17,494)

また、各区分における主な事業は次のとおりです。

- ◇総務費 → 公共施設整備基金積立金 (191,009)
定額給付金給付事業費補助金 (166,408)
減債基金積立金 (96,034)
定住促進事業費補助金 (15,750)
- ◇民生費 → 保育所運営委託料 (245,815)
障害者自立支援給付費 (143,631)
児童手当措置費 (82,485)
地域支援事業費 (41,099)
老人ホーム入所措置費 (36,406)
- ◇衛生費 → ごみ収集運搬処分等業務委託料 (55,690)
火葬場建設事業費 (47,815)
健康増進事業費 (17,188)
- ◇農林水産業費 → 広域漁港整備事業費 (109,176)
中山間地域等直接支払交付金 (79,013)
県営広域農道整備事業負担金 (47,250)
バラ干しノリ加工施設整備事業費補助金 (46,706)
- ◇商工費 → 道の駅施設整備事業費 (78,746)
廃止路線代替バス運行費補助金 (3,942)
納涼夏まつり補助金 (2,625)
- ◇土木費 → 道整備交付金事業費 (286,324)
辺地対策事業費 (65,786)
地域住宅交付金事業費 (35,399)
- ◇消防費 → 消防車両等購入費 (27,977)
火災警報装置設置事業費 (10,830)
- ◇教育費 → 学校施設耐震補強事業費 (82,760)
学校 I C T 環境整備事業費 (57,921)
B & G 海洋センター艇庫トイレ改築事業費 (9,434)

2. 特別会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	平成21年度決算額			Cの内訳	
	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	基金積立額	翌年度繰越額
山林	201,833	199,189	2,644	—	2,644
老人保健	7,187	5,280	1,907	—	1,907
後期高齢者医療	101,335	100,346	989	—	989
国民健康保険	1,782,432	1,819,123	△ 36,691	—	—
漁業集落排水	47,306	42,789	4,517	—	4,517
簡易水道	81,381	77,184	4,197	2,100	2,097

※国民健康保険特別会計の不足分については、翌年度繰上充用金にて補てんしています。

(単位：千円、%)

会計名	平成21年度決算額		平成20年度決算額		増減			
	歳入 A	歳出 B	歳入 C	歳出 D	歳入 A-C	増減率	歳出 B-D	増減率
山林	201,833	199,189	160,372	151,481	41,461	25.9	47,708	31.5
老人保健	7,187	5,280	153,756	151,800	△ 146,569	△ 95.3	△ 146,520	△ 96.5
後期高齢者医療	101,335	100,346	100,740	99,487	595	0.6	859	0.9
国民健康保険	1,782,432	1,819,123	1,775,388	1,741,287	7,044	0.4	77,836	4.5
漁業集落排水	47,306	42,789	45,719	40,045	1,587	3.5	2,744	6.9
簡易水道	81,381	77,184	81,835	80,744	△ 454	△ 0.6	△ 3,560	△ 4.4

国民健康保険特別会計では、医療費等の増加により歳出が約7800万円増加しました。また、老人保健特別会計においては、後期高齢者医療制度へ移行したことにより、平成22年度までの運用となっているため歳入・歳出ともに約1億4700万円減少しています。

3. 企業会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	区分	平成21年度決算額		
		収入総額 A	支出総額 B	差引 A-B
町立太良病院	収益的	851,637	884,590	△ 32,953
	資本的	73,348	88,134	△ 14,786
水道	収益的	56,793	52,924	3,869
	資本的	0	13,179	△ 13,179

※ 資本的収支の不足分は、それぞれの事業会計の内部留保資金によって補てんされています。

(単位：千円、%)

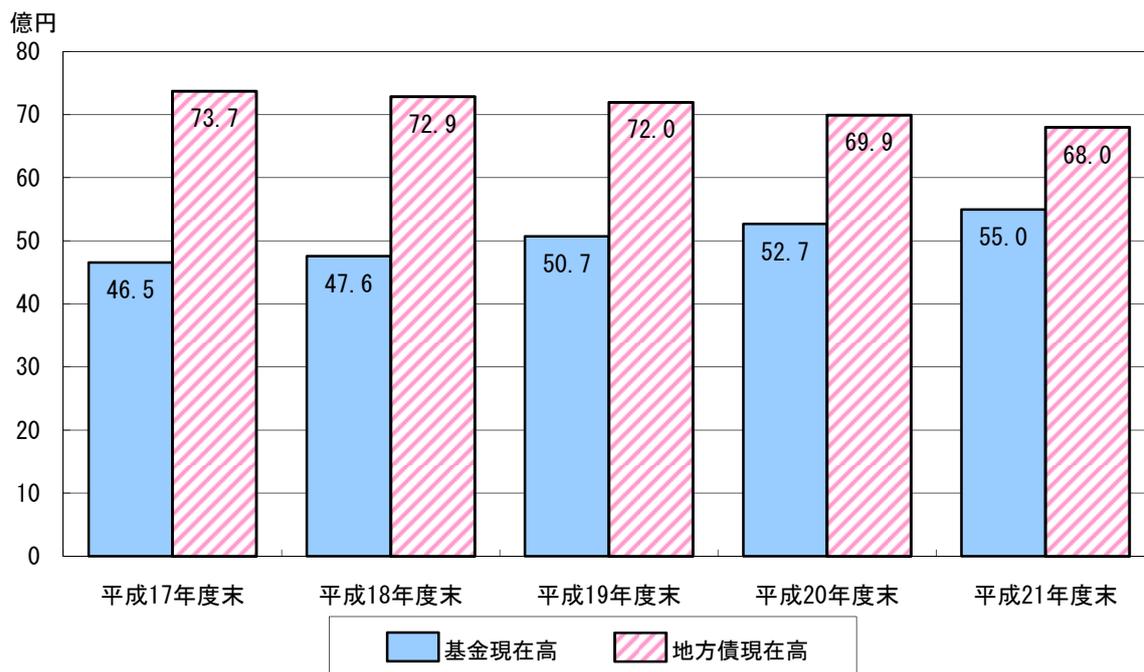
会計名	区分	平成21年度決算額		平成20年度決算額		増減			
		収入 A	支出 B	収入 C	支出 D	収入 A-C	増減率	支出 B-D	増減率
町立太良病院	収益的	851,637	884,590	754,900	885,656	96,737	12.8	△ 1,066	△ 0.1
	資本的	73,348	88,134	23,273	25,097	50,075	215.2	63,037	251.2
水道	収益的	56,793	52,924	52,629	50,934	4,164	7.9	1,990	3.9
	資本的	0	13,179	0	16,018	0	—	△ 2,839	△ 17.7

町立太良病院事業会計では、統合系医療情報システム導入事業等により、資本的収入が5000万円、収益的支出において、約3400万円増加しています。また、整形手術件数等の増加により、収益的収入が約9700万円増加しています。なお、資本的収支の不足分はそれぞれの事業会計の内部留保資金によって補てんしています。

※収益的収入及び支出とは、1年間の通常業務に係る事業の収入と支出をいいます。

資本的収入及び支出とは、サービスの維持、拡大のための建設改良費や企業債収入など、収入支出の効果が将来にわたるものをいいます。

4. 基金及び地方債現在高の状況（全会計）



上のグラフは全会計における基金（積立基金及び定額運用基金）と地方債の現在高の推移を表しています。基金現在高は、昨年度に引き続き平成21年度では取り崩しを減らし積立てを増やしたことで約2億3000万円増加しています。また、地方債現在高は、投資的事業等の財源として毎年借り入れをしていますが、昨年度に引き続き借入額よりも返済額が多かったために約1億9300万円減少しています。いかにして基金残高を確保し地方債の新規発行を抑制するかが、今後の重要な課題です。なお、地方債では普通交付税で償還の一部が補てんされますので、実質的な町の負担は約28億9000万円となります。